

平成25年6月4日

〇〇 〇〇 様

大阪市長 橋下 徹

拝啓 立夏の候、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素は本市の行政全般にわたりまして御理解と御協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故からはや2年以上が経過しておりますが、事故そのものの収束はもちろん、被災地の復旧・復興も思うように進んでいない状況であります。

この度の深刻な事故により、ひとたび原子力発電所において重大事故が発生した場合、その被害が回復不可能なほど甚大なものであることが明らかとなっただけではなく、いまだに使用済み核燃料の処理体制が確立していないことも考え合わせますと、我が国のエネルギー需給のあり方を根本的に見直し、原子力発電への依存から脱却する必要があると考えております。

一方、電力供給システムは現代社会において市民生活や経済活動が円滑に運営されるために必要不可欠なインフラであり、安心かつ安価な電力が安定的に供給されるシステムを構築し維持していくことが求められるだけでなく、このための取組みは関西電力株式会社にとっても中長期的な観点からの経営体質の強化、安定化につながるものであり、是非とも達成されるべき課題であると認識しております。

大阪市といたしましては、こうした状況を踏まえ、関西電力株式会社に対して、原子力発電に代わる多様なエネルギー源を導入することや、顧客の立場に立った新たなサービス事業の展開や安全文化の醸成をはじめとした経営方針の転換を求めて、来る平成25年6月26日に開催されます同社の第89回定時株主総会におきまして、別紙の内容を議題とするよう株主提案を行いました。

以上の趣旨に沿った今後の本市の取組みにご理解をいただきますとともに、本市提案にご賛同を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具